

4月例会・春季花見ハイキング

『背割堤の桜を愛でる』

～歴史の町京都・八幡市を訪ねて～

- ・平成26年4月7日(月) 9時30分～
- ・八幡市石清水八幡宮周辺及び背割堤
- ・参加人数24名

前日までの悪天候。果たして花が持つかな、と心配されましたが、これ以上ない程の好天候とあいまって最高の花見ハイキングになりました。

京阪橋本駅には24名、多くの会員に遠路足を運んで頂きました。まず男山に向かって住宅街の中の急な坂道を東へ。途中ではつつじや椿の花など多様な植物観察ができ、自然林「男山」



が堪能出来ましたが、それ以上に目立ったのは竹林の美しさでした。よく手入れされているので、たけのこ販売の露店もそこそこに。そして、30分程で石清水八幡宮へ到着しました。

ここでは早速桜の花が私たちを出迎えてくれましたが、この下に佇むエジソン記念碑を見た後本殿前に移動し、川井さんから男山や八幡宮についてのお話を聞きました。

本殿等を参拝したあと、山の北側にある「展望台」に。ここからは眼下に八幡の市街地や桜の背割堤、遠くには天王山や愛宕山そして比叡山を望む広大な絶景にしばし時を忘れる思いでした。その後、表参道を通り頓宮へ経て高良神社を参拝後、航海記念塔を見学しました。



そして本日のメイン見学箇所の背割堤へ足を運びます。八幡市駅から堤へは普通15分程の距離ですが、人、人、人・・・のため2倍の時間がかかりました。本当に歩くのも苦勞するほどの人出でしたが、堤の桜を見て納得。風に吹かれて散り始めた桜もありましたが、今を盛りと、咲き盛る花が殆どでした。これを目当てに最後の桜を堪能しようと、我々と同じように友達同士でまた家族連れでここに沢山の人がやって来ているんだな、と実感しました。

ここではシートに腰を下ろし昼食。花より団子よろしく弁当を食べながらアルコールや桜餅などを賞味し、楽しい時間を持ちました。その後も、桜の中でおしゃべりを楽しんだり、堤の先まで歩いて花を愛でたりしながら、時間を過ごしました。

それでも、流石に帰りの桜のトンネルの中には冷たい風が吹きぬけ、本格的な春はまだかな、という思いを強くした花見ハイキングでした。

しかし、初めてここを訪れた者にとっても、そうでないものにとっても楽しく充実した一日になったことでしょう。(八木 順一)

